

世界では様々な性別がある。しかしその性別により「男らしくない」「女らしくない」など人のイメージまで勝手に決めつけられ、やりたいことが出来なくなり、自由が失われ、仕事がかたよっている。男性がパティシエなのはよくないのだろうか。女性が議員として政治に関わるのはよくないのだろうか。また、このイメージを無くしたり、男女の格差を無くすることはできないのだろうか。

「ジェンダーってなに？」という資料によると、男女に格差が生まれてしまったのは、男性は青、女性はピンクといったような先入観によるものだろう。世界でみる日本の男女平等の度合いによると、日本は156ヶ国で120位と大きな差が生まれてしまっている。特に政治と経済に差があることがわかる。日本に女性の首相がないことや仕事によって性別がかたよりにすぎているのも原因だと思う。だが女性首相がない理由として、女性は家事や育児をすることが多いため、議員活動の仕事と両立させるのは難しいと思う。政治に関わるために、様々な人が協力しない限り、女性が政治に関わることは、男女の格

世界でみる日本の男女平等の度合い  
日本**120位**/156カ国



©「Global Gender Gap Report 2021 (WEGF)」より作成

差を無くすことは難しい。

確かに、女性が男性の多い議員、などに  
入り、仕事と家事育児と両立させるの  
は難しく、大変だと思いつ。しかし、女性にしか  
わからないこと、できないこともある。たか  
らいろいろな人が協力して助けてあげれば、  
女性ほ仕事と両立でき、女性が政治に  
関わることもできるとし、男女の格差  
も無くなると思いつ。

今出典く「EduTOWN」SDGs 世界  
の国や地域が協力して持続可能な開発  
を目指すSDGs「東京宣言」